
殺人学生

grayfty

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

殺人学生

【Nコード】

N2392I

【作者名】

grayffy

【あらすじ】

集団暴力をうける高校生。

ある日いつもの怨みをはらすため
復讐をおもいつきました……。

1話：暴力行為

やってしまった。
オレは．．．。
遂に

- 春 - 4月

桜の花びらが舞い散る中で
僕は大阪の花の原高校に
入学した。知ってる人も
いっぱい居たので楽しくなりそうな
きがしていた。
僕のクラスは1 - 2だった。

クラスの印象ははっきり言って
ヤンキーが多いとゆうイメージだった。
そこで最初に標的となったのが
僕だった。

毎日呼び出されて暴力だった。
それが嫌で不登校になったら
メールで「学校に来ないと
家まで行って親も殴る。」
それも嫌で学校に行く。
するとまた暴力をうける。
その繰り返しが怖かった。

周りの友達はそのヤンキーと
仲良くなってしまう、頼る人がいなかった。

僕はその時決心した。
アイツらを絶対に高校の間に
殺そうと。

そこから僕は殴られても
動じなくなってしまうた。
それが当たり前だから。

そしてそんな日が続いた
高校2年の12月にこんな事件が起こった。

『中1男子、いじめを行った男子生徒1人を金属バットで殴殺。
僕はこの事件を聞いてこれだと思
った。同じ事を考えてるのは僕だけじゃない。
そこから一気にその感情は
高まっていった。』

高校3年19月26日
その日殺しの道具を買いに行きました。
普通にナイフか、塩酸でもかけてやるかどっちに
しようか迷った。

結局買ったのはカッターナイフ。
セオリー通りの殺し方でしたか??

1話・暴力行為（後書き）

よんでいただき感謝です。

レビューがあればお願いいたします

2話：計画開始

僕が買ったのは監禁道具の手錠と目隠しするためのマスクを買いました。

軽く監禁できる方法はまだ決めてませんが、拷問殺人にしようとおもいます。

明日は学校です。
楽しみですね。

と思っていたけどイジメはエスカレートしていった。

僕が拘束する前にアイツらに拘束されてしまった。
ひどかった。鬱になってしまつう。

僕は決心が固まった。
絶対どん底に落として殺してやる。

とりあえず誰かだめして見るために以前から仲の良かった吉本くんのためしてみた。

「あのさあ、ちょっと家に見せたいものがあるんだ。来てくれないかな？」
と言っても来てはくれない。
だから最後に1万円と言ったらきてくれた。

では、吉本くん。さようなら。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2392i/>

殺人学生

2010年10月18日08時35分発行